お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんの腹膜透析液の排液を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている試料を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】
「PD(腹膜透析）における腹膜の線維化と IL-18 を規定する因子の解明」

【研究機関】
愛媛大学医学部附属病院第二内科（循環器・呼吸器・腎高血圧内科学）

【研究責任者】
莖田昌敬（第二内科　助教）

【研究の目的】
外来管理にて腹膜透析を行っている患者さんの腹膜透析の排液を利用して、IL-18 や TGF-βなどの増減を調べ、腹膜障害に与える影響について解析する研究を行うことといたしました。この研究は腹膜透析を行っている患者さんにおける腹膜の状態を多方面より評価し、透析膜としての腹膜機能の劣化を的確に診断することを目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】
（対象となる患者さん）愛媛大学医学部附属病院腎高血圧内科および、松山赤十字病院（腎センター）で外来管理にて腹膜透析を行っている方及び腹膜炎と診断された方
（利用するカルテ情報）性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、治療状況　等
（利用する試料）腹膜透析液の排液

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

＜試料・情報の管理責任者＞
七條　聖（第二内科　助教）

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】
愛媛大学医学部附属病院第二内科（循環器・呼吸器・腎高血圧内科学）
莖田昌敬、七條聖
791-0295　愛媛県東温市志津川
Tel: 089－960－5303